

# 製造業における“反不正文化”の醸成に必要な対策

～既存対策や企業風土を踏まえた“明日からはじめる不正防止対策”～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2018年10月2日(火) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町5丁目)

《開催にあたって》

製造業での重大な不正が多数発覚し、企業価値を大きく毀損させている現在、改めて製造業に携わる人々のモラル、コンプライアンス意識、職業倫理が問われています。このような中、「自社ではどのような対策をすべきか」について悩まれる管理職・管理部門の方も多いのではないのでしょうか。本セミナーでは、製造現場で長期的・組織的な不正が発生するメカニズムを知ることから、いかなる観点からのリスク管理が求められるのかの解説と合わせ、参加企業ごとの今後講じるべき具体策のヒントまでを提供できればと思います。

講師 株式会社エス・ピー・ネットワーク 執行役員 高森 一誓 氏

講師紹介  
特定社会保険労務士(東京都社会保険労務士会会員)、公認不正検査士(日本公認不正検査士協会会員・東京不正検査研究会会員)。1999年、株式会社エス・ピー・ネットワーク入社。コンサルティング部長、管理担当執行役員等を歴任、コンサルタント視点と内部管理当事者視点の両面を兼ね備えた講演・コンサルティングを持ち味に、労務管理分野のほか緊急事態対策、情報管理、内部統制全般の領域で活動。2017年より総合研究部・企業情報部担当執行役員(現任)。2014年、事業構想大学院大学にて新規事業構想におけるリスクマネジメントのあり方を研究・修了(事業構想修士)。

《申込方法》 当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

181806-0101		製造業における“反不正文化”の醸成に必要な対策	
ふりがな 会社名			
住所			
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

## ・プログラム・

### 【第1部】 集団的不正発生のメカニズムと“反不正文化の醸成”

1. 最近の大規模不正事例から読み解く“不正発生のメカニズム”
2. 企業風土により放置される組織的不正の分析  
～危機管理専門会社としての弊社取扱事例から～
3. チャレンジャー号問題などの技術者倫理事例を“自社組織の現実問題”として捉える  
～製造現場が直面する不正問題(線引き問題・相反問題等の現実的課題)～
4. 不正を生み出す企業風土(世間的組織文化)とパーソナリティ(組織構成員)の特性
5. 変化する企業倫理とコンプライアンス

～これからの企業に求められるコンプライアンスとは～

### 6. “反不正文化の醸成”に必要な制度設計の方向性

～規程等ルール・監査・教育・内部通報・懲戒等の制度、その他補強策のポイント～

### 【第2部】 事例から学ぶこれからの不正防止対策(ワークショップ形式)

1. 製造業不祥事(倫理的課題含む)事例のケーススタディ  
第1部を踏まえ、事例を単なる倫理問題ではなく現実問題として捉え、製造の現場におけるリアルな課題の体感を試みます。
2. 倫理問題事例を通じた自社の課題抽出(個人ワーク)  
事例に自社の実情を反映することを通じ、自社の既存対策に対する追加施策や、解消すべき本質的問題の抽出を試みます。
3. まとめ ～既存対策や企業風土を踏まえた“明日からはじめる不正防止対策”～

※内容は一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。